

令和6年度の主な取り組み

資料2-1

①【中央病院】

- ・手術台とX線血管撮影装置を組み合わせた手術室（HOR・HEOR）の稼働
- ・IVR-CT室及びバイプレーン室にX線血管撮影装置を整備
- ・高度救命救急センターに2ルーム式X線CT装置室を整備
- ・がんゲノム医療拠点病院として、パネル会議での144症例の検討
- ・（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定更新

【北病院】

- ・訪問看護ステーションによる重症通院患者への継続的な支援
- ・救急体制・依存症治療・重症例受入の強化

② 新興感染症への対応

- ・感染症法に基づく「医療措置協定」を県と締結し、病床確保や人材派遣等の体制を確保
- ・新型コロナの5類移行後も重点医療機関として、必要な医療体制の確保・支援
- ・新災害支援ナース養成研修による災害時等の応援派遣に的確に対応できる看護師の育成（令和6年度は3名を育成し、計9名が登録されている。）

③ 地域医療機関等との協力体制の強化

- ・地域医療支援病院として、連携登録医の訪問や県内医療機関を対象とした研修会を実施
- ・紹介率は84.3%、逆紹介率は85.2%と高い水準を維持

R7年度計画の主な取り組み

■ 医療の提供

【中央病院】

- ・ 2次救急医療体制強化(当番日数の増 R4:112日、R5:111日、R6:130日、R7:130日)
- ・ 30R(WOR・HEOR・HOR)の活用による迅速な救命措置と高度医療
- ・ がんゲノム医療拠点病院として、高度で先進的な医療の推進(パネル検査 R5:148件、R6:144件)
- ・ 新興感染症の発生・まん延時における病床確保等の医療提供体制の充実
- ・ 働き方改革の推進:医療従事者の業務効率や質の向上を目的とした、生成AIや医療DXの活用

【北病院】

- ・ 災害時の精神科医療における拠点機能を整備

■ 医療に関する技術者の育成、確保及び定着

- ・ 若手医師の確保及び育成(初期臨床研修医(26人)と専攻医(32人)を新規採用)
- ・ 専攻医研修として、麻酔科専門研修プログラムを開始
- ・ 特定行為を実践できる看護師や新災害支援ナースの養成と活動の支援